

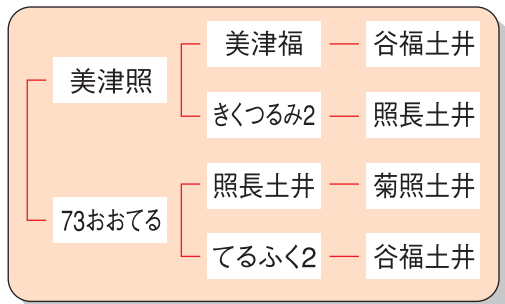
抜群の肉質

純粋「但馬系」
種雄牛

て る み つ

照美津

●血統



検定材料牛において驚異の

BMS.No. 12

●生年月日 平成17年2月8日

を記録!



黒 14084
(82.4)



長崎県肉用牛改良センター

〒859-4824 長崎県平戸市田平町小手田免19

TEL (0950) 57-1684 FAX (0950) 57-1685

<http://www.n-nourin.jp/ah/agrilink/usi/index.htm>

プロフィール

照美津は、父が家畜改良事業団所有のBMS育種価がトップクラスである「美津照」と、母に「照長土井」「牛若丸」「上福」を生産した「ふく子」の系統で、育種価も高い「73おおてる」により作出された種雄牛です。

現場後代検定では、平均BMS.No. 6.1、4～5等級率70.6%、ロース芯面積53.1cm²という良好な成績を収めました。また、検定材料牛においてBMS.No. 12がでるなど、脂肪交雑もさることながら脂肪質の良さ等、肉質面の良さが評価されています。

今後、肉質の改良を目的とした種雄牛として、本県肉用牛の改良に貢献することが期待されます。

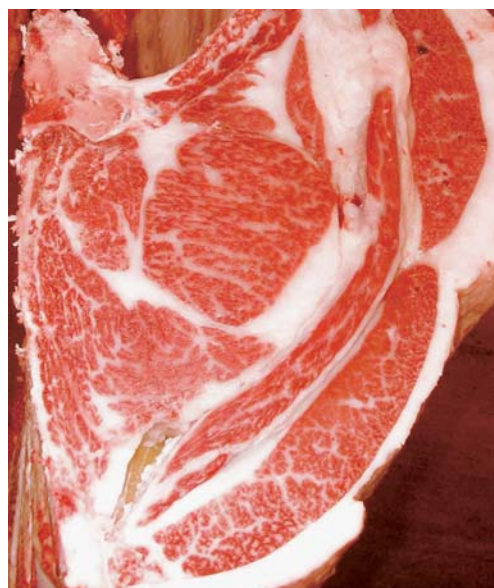
現場後代検定成績

	頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪の厚さ (cm)	脂肪交雑 BMS. No.	4・5等級率 (%)
去勢	17	27.9	473.1	53.1	7.4	3.0	6.1	70.6
雌	—	—	—	—	—	—	—	—
全体	17	27.9	473.1	53.1	7.4	3.0	6.1	70.6
県平均	去勢	28.9	479.0	52.1	7.8	2.6	5.3	54.8
	雌	30.3	432.1	51.0	7.7	3.1	4.7	39.3

県平均:長崎県産産子の肥育成績平均値(平成20年度出荷分)



母の父/平茂勝 BMS. No. 12
母の祖父/安平 ロース芯 70cm²



母の父/平茂勝 BMS. No. 9
母の祖父/康福3 ロース芯 60cm²

交配方法

本牛は純粋な但馬系の種雄牛ですので、発育と肉質を兼備した素牛を生産するためには、次のような母牛への交配が考えられます。

1. 気高系の母牛 (例 父:平茂勝)
2. 糸桜系の母牛 (例 父:平茂晴、糸晴美)

遺伝病:すべて正常